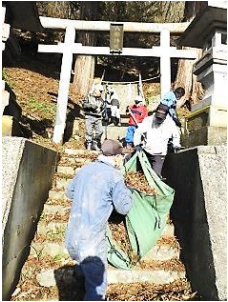




あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会
 令和4年5月1日 第48号 委員長・宮下文夫 編集・北條昭吾

「チームフロンティア・浅川」16人が、薬師神社入口ーダム間を清掃



枯葉清掃

浅川地区活性化に取り組むボランティア組織「チームフロンティア・浅川(竹村美岐雄会長)」の16名は4月10日(日)薬師神社表参道入口と同入口から浅川ダム直下の長原橋までの道路の枯葉やU字溝の土砂揚げ作業に取り組みました。

浅川地区活性化の先頭に立って取り組み 3月17日に逝去した住自協活性化推進員「原田孝成」さんに参加者全員が黙とうを行いました。



U字溝の泥揚げ

浅川ダム展望広場愛護会の9人が今年初の展望広場清掃！

浅川地区の今年度と昨年度の区長で構成する「浅川ダム展望広場愛護会」の9人は、浅川ダム展望広場整備事業として4月9日(土)展望広場の草刈り・溝清掃を行いました。

この整備事業は愛護会の前区長・現区長を4班に分け年間8回、広場の清掃事業や鯉のぼり掲揚、ダム祭りなどに取り組んでいます。当日は広場や隣接する道路脇の草刈りU字溝の清掃をしました。



県道脇の清掃

浅川ダム「鯉のぼり」掲揚今年も中止、浅川ダム利活用懇で決定！

浅川ダムの利用活用について話し合う「第25回浅川ダム利活用懇談会」は4月6日(水)開催されました。毎年春の連休に行われている浅川ダム鯉のぼり掲揚について、コロナウイルスの感染状況、準備不足などを考慮し、昨年に続き今年も中止となりました。



浅川ダム利活用懇談会

この懇談会には県浅川改良事務所から川住淳一郎所長など4人、柄澤貞久市浅川支所長、浅川地区住自協から宮下文夫会長など11名が出席して開催されました。

昨年の浅川ダム展望広場の環境整備事業・浅川ダム展望広場愛護会の活動・浅川ダム花いっぱい作戦進捗状況などの事業報告を受けました。

浅川ダム展望広場愛護会・花いっぱい作戦・浅川ダム展望広場事業について話し合わせ、浅川ダムでの鯉のぼり掲揚中止を決めたほか、7月に行われるダム祭りの予定は今後詰める事にしました。

浅川地区住自協からは ①浅川真光寺遊歩道3か所のU字溝フタ設置 ②浅川ダムアサギマダラ苑のU字溝のフタ設置 ③浅川ダムアサギマダラ苑入口付近の雪上車による道路破損、えぐられた駐車場の舗装について県・市に要望しました。

浅川ダム江戸彼岸桜1本満開、一ノ瀬橋西ラッパ水仙も千本満開！



ダム展望広場の江戸彼岸桜

浅川ダム展望広場フェンス西に植えた江戸彼岸桜5本のうち4月13日現在、1本の木に数百の花が咲き満開になりました。昨年は4月4日が満開で今年は9日遅れです。また3本の木には今年初めて数個から数十個のつぼみがついています。

一ノ瀬橋東の江戸彼岸桜5本のうち



一ノ瀬橋西ラッパ水仙

4本には数個から数百個つぼみがついています。

一之瀬橋西斜面には、4月13日現在「浅川花いっぱい」の皆さんが4年前から植栽したラッパ水仙6千本が満開になり黄色い花が浅川ダムを背景に綺麗に咲いていました。

真光寺遊歩道脇にハuckleベリーの種をまく！

「浅川産ハuckleベリージャム」をつくろうと毎年ハuckleベリーを栽培している「チームフロンティア・浅川」の有志は4月3日(日)浅川真光寺の遊歩道脇にハuckleベリーの種まきをしました。

種まき場所は3月23日耕運機で土を起こしておいたもので、有志4名はあらかじめ倒壊防止用竹棒を立てた脇に種をまき、たっぷり水を与えました。種は昨年の収穫した中から大きめの物を残しておきました。今後は生えた苗の植え替え、肥料散布、除草などの手入れをして、9月には収穫を行い、大勢の「チームフロンティア・浅川」会員によってハuckleベリーのヘタ取りを行い、ジャム製造会社に持ち込み瓶詰ジャムにしてもらう予定です。



浅川と南浅川合流点付近で刈った草・木を焼却！

「チームフロンティア・浅川」会員有志は昨年末に、浅川と南浅川の合流点付近で草や木を刈って置きました。3月20日(日)会員有志4人は雨上がりの河原で積んであった草木を焼却しました。



焼却については消防署へ届けて行いました。遊歩道下の河原は水に親しんでもらおうと毎年手入れしています。

浅川と南浅川の合流点では石油井戸が3本建てられている事が古文書に描かれており、今も河原では微量の石油がしみだしてきています。

「あさかわの里山と森をまもる会」浅川西条民有林を整備

浅川の森林整備をおこなっている「あさかわの里山と森を守る会(鶴田敏光会長)」は、3月8日から4月26日の毎週火曜日8回浅川西条の民有地で森林整備活動を行っています。

3月15日は会員8名が参加、柵の北側にある木にロープをかけ東に向けて伐採、伐採した木はチェーンソーで40cmの長さに玉切り、丸太は運搬機に乗せて車が入る場所まで搬出しました。



令和4年4月施行「長野市生物多様性地域戦略」指標種に ゴマシジミなど4種が長野市環境審議会から長野市長に答申



答申を受ける萩原市長

「長野市生物多様性地域戦略」の指標種に長野市霊園に生息する蝶「ゴマシジミ」を決めるなど、令和4年4月施行の「第3次長野市環境基本計画」について長野市環境審議会(会長・大澤幸造長野高専教授)は、長野市から諮問を受けていました。1月31日審議会は萩原長野市長に対し長野市霊園に生息するゴマシジミなど4種を指標種に答申しました。

「長野市生物多様性地域戦略」は豊かな自然が保たれている生物多様性の確保に取り組むもので、市域の自然環境に関する継続的な調査と基礎情報の整備を市の施作とします。

指標種として今後5年間継続的調査をする希少生物として次の4種が決まりました。

- 1) モリアオガエル(長野県準絶滅危惧種【INT】)
- 2) ゴマシジミ(【本州中部亜種】環境省の絶滅危惧種1A類、長野県絶滅危惧種【EN】県指定希少野生動物)
- 3) カタイタデ(長野県絶滅危惧種【VU】)
- 4) ウマノスズクサ(長野県絶滅危惧種【VU】)

ゴマシジミの保護活動に取り組む浅川地区住民自治協議会の保護育成チームでは、ゴマシジミの調査保護活動を継続する事にしています。